



episode.08

## 屋久杉の未来

話し手 屋久杉加工販売「縄文屋」

ひだか としひろ  
日高 利弘さん (昭和20年10月1日生)

聞き手 鹿児島県立屋久島高等学校 1年

鹿島 暖祈 黒川 竜之介  
日高 亜優 牧 綾音  
高見 杏里 古市 東茶

### 「屋久杉の加工について」

工芸を始めてから46年になります。ぼんたん館の加工場が最初の工場で、その場所で農協の事業が開始となってしまったため、今の場所に代わりました。今の工場は私で二代目です。

屋久杉は、森林管理署から入手しています。入札の1週間前ぐらいから自分で木をじっくり見る時間があるので、そこでいいなと思った木に目星をつけておきます。切り口はきれいでも、中が腐っている場合が多いので、仕入れの段階が一番大事ですね。作り始めるまでにも、木を乾燥させてから加工に入るので、それだけで1年ぐらいかかります。屋久杉と他の杉の基本的な違いは、屋久杉は原生林だということです。屋久島はエリアによっても杉の質が違います。その他にも樹成分の量などその土地柄によって全然違いますね。

### 「コロナの流行が及ぼした仕事への影響」

コロナの影響は大ですね、今コロナが始まって3年になりますけど、売上げが大体70パーセント減少したんです。それで、ほとんどの組合員がコロナの営業補償をもらって、今なんとかやっているとところですね。どのサービス業も一緒ですね。自力で頑張らんとね。屋久島の経済効果がよくなるように、私達も要請などをしています。

屋久杉で作った加工品に寿命はないです。なぜかという、テーブルにして傷がついてもまた削ればみんな新品になるんですよ。手間かかりますけどね。長持ちするのはメリットですよ。



### 「故郷・屋久島への愛」

私がこの仕事を始めようと思ったのは、屋久杉があって森林がいっぱいある屋久島が好きだからだね。屋久島は山もいいし、海もいいからね。そういうのをひっくるめて屋久島の魅力にひかれたのさ。生活環境は都会よりも屋久島のほうがいいと思っているから。屋久杉は神様が育ててくれた木だと思っているから無駄にしないように大切に使うようにしていますね。

「縄文杉はすぐ枯れるが、私は枯れないよ」



### 聞き書きコラム

#### 屋久杉の歴史

縄文杉とか大王杉とか樹齢数千年という屋久杉のことは、みんなも知っているでしょう。はるか昔に屋久島の森に生まれ、長い歳月をかけて成長しました。屋久島は神々の領域で、屋久杉は神聖なものだったのですね。それが、藩政時代に年貢としてどんどん切り出され、明治になって国有林となります。国有林だから守られたわけではなく、戦後は住宅用に大量の屋久杉が伐採されました。そして、昭和40年頃から自然を守る動きが活発になり、昭和60年以降は森林生態系保護区が設定され、伐採しない中核部と、生態系を保全しながら利用する周辺部に分けられました。